事例No.	2960
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	茨城県古河市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・公共施設活用

事例種類	DX

事例内容・タイトル

古河生活べんりマップの公開

出典

令和5年度調査研究：先進事例調査研究事業

〇古河生活べんりマップの公開

・取組団体：茨城県古河市

・取組内容：庁内の複数部署で個々に管理していた地図情報システム（以下「GIS」）を集約し、インターネット上に公開することで、ランニングコストを抑えつつ、行政サービスを向上させた。

・推進体制：都市計画課

・事業予算：システム導入経費　21,230 千円（新型コロナウイルス対策臨時交付金活用）

１．茨城県古河市の概要

人口：140,411 人（令和６年２月１日）

職員数（一般行政部門）：816 人（令和４年４月１日時点）

総面積：44.69 ㎢

図表１　古河市の位置図



出所：古河市ホームページ

２．取組の背景・目的・内容

（１）　取組の背景・目的

建物の建築などを行う際に、市民や建築・不動産事業者(以下「事業者」)は、都市計画決定された用途地域や都市施設の照会を来庁して確認する必要があるため、市職員が窓口や電話で対応を行ってきた。コロナ禍になったことを契機に、市外・県外からの事業者が来庁する機会を減らすことが求められることとなった。そのため、庁内で運用していた GIS の現状を整理した結果、都市計画課、建築指導課及び用地管理課は、同一の GIS を使用していたが情報は共有されておらず、インターネット上でも公開されていないことが分かった。そのほか、各課で保

守契約をしていたため重複した内容の業務が生じており、無駄なランニングコストがあることも分かった。

そこで、各課が運用していたGISを一本化し、保守業務を都市計画課にて一括契約することで、重複したランニングコストを削減し適切な業務運営を行うこととした。また、集約した情報を「古河生活べんりマップ」というサイトを設けてWEB公開することで、窓口でのみ対応していた業務をPC・スマートフォンで確認できるようにし、住民や事業者が来庁する負担を減らし、職員の業務効率化を図ることを目的とした。

（２）　取組の内容

各課で使用している既存のデータをGISに統合する。

図表２　既存データの統合イメージ



出所：古河市提供

これまで各課で運用してきたGISを統合したうえでWEBクラウドに共有し、PC・スマートフォンで閲覧を可能にする。また、統合前の仕様では他事業者にデータを引き継ぐことができない内容になっていたことから、今回の統合を契機にSHAPE形式でのデータ引き継ぎを可能にすることとした。

図表３　WEB公開イメージ



出所：古河市提供

古河生活べんりマップに掲載した内容は、都市計画課・建築指導課・用地管理課以外の部署で保有するデータ(公共施設や指定避難所、埋蔵文化財包蔵地、道路冠水情報など）も加える形にして、幅広い人たちが利用できるものとしている。

また、古河生活べんりマップの公開にあたっては、市の広報紙やホームページ、公式 LINE など複数の媒体のほか、各窓口でリーフレットを配布して利用者への周知を図っている。

図表４　古河生活べんりマップ



出所：古河生活べんりマップチラシ

３．成果・課題、今後の方向性など

（１）　成果

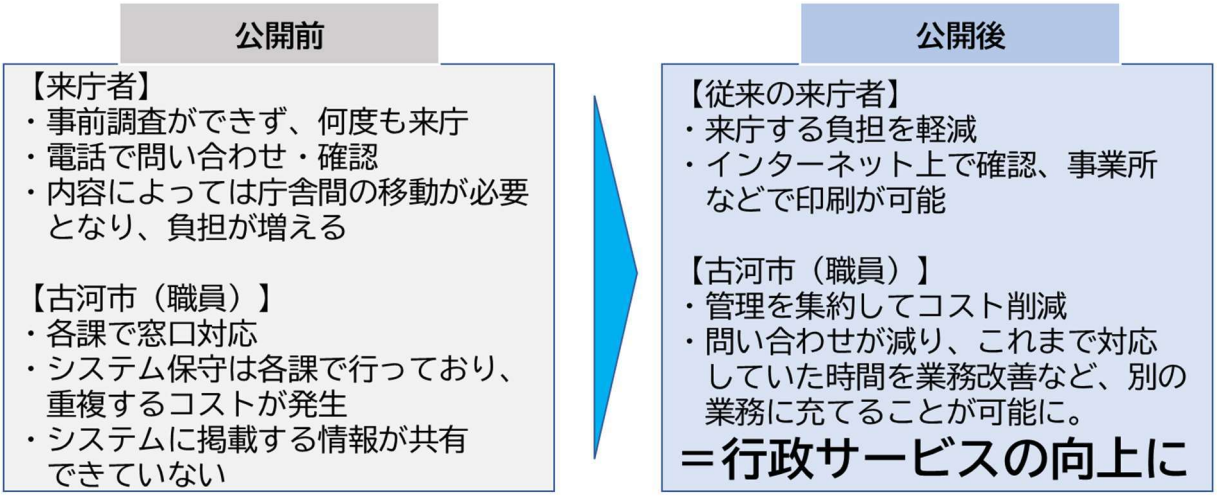
①　事業者向け情報

都市計画総括図や指定道路図、道路台帳、下水道台帳など、これまで窓口でしか確認できなかったデータをインターネット上に公開することで、事業者の来庁は不要となった。また、窓口や電話での対応を減らすことができ、市職員の業務効率化につなげることができた。現在も来庁する事業者に対して、リーフレットなどで古河生活べんりマップを案内すると「ほかの市町村にはない便利なものだ」という意見を多くもらえている。

②　市民向け情報

市内の公共施設や洪水ハザードマップ、河川情報ライブカメラを公開するほか、災害時には避難所の混雑状況や道路冠水箇所を発信することが可能となり、災害時でも分かりやすい情報発信が可能になるため、スムーズな避難を促すことができる。

図表５　古河生活べんりマップの効果



出所：ヒアリングに基づき、機構にて作成

（２）　今後の方向性

水道や農地関連の情報掲載については、事業者からニーズがあることから担当者と掲載に向けた調整を図り、更なる拡充を考えている。そのほか、庁内からの掲載ニーズについても随時対応していき、コンテンツの充実を図ることでより利便性の高いシステムにしていきたいと考えている。

【参考文献】

・古河市公式ホームページ
https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/index.html